

## 資料1 統計データからみえる前橋市

### 1 人口動向

前橋市の人口は、平成24年4月1日現在で、338,118人となっており、平成21年の富士見村との合併により、平成22年は一時的に増加し、その後は減少に転じ現在に至っています。

また、高齢化率は平成20年から一貫して上昇しており、高齢化の進行が伺えます。

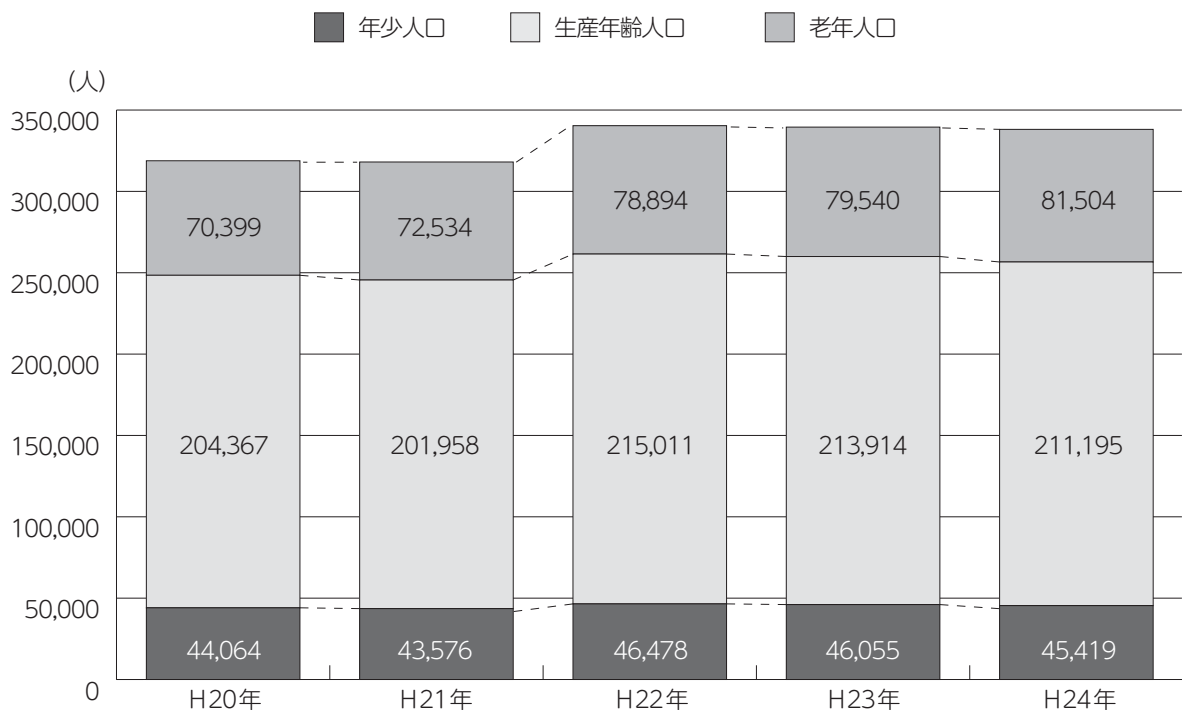
#### 【年齢3区別の人口動向】

(上段：人、下段：構成割合%)

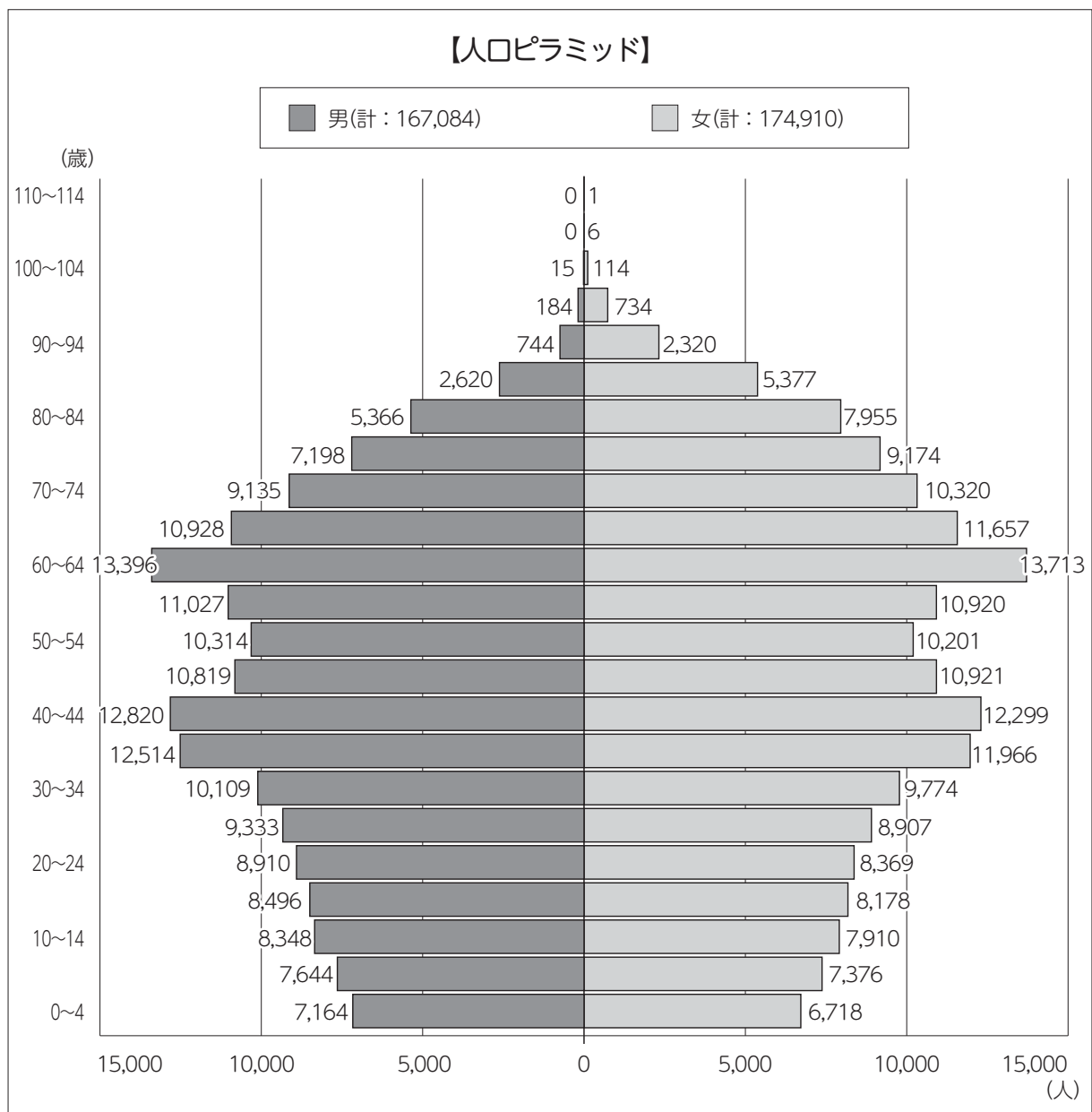
区分	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
年少人口 (0～14歳)	44,064	43,576	46,478	46,055	45,419
	13.8%	13.7%	13.7%	13.6%	13.4%
生産年齢人口 (15～64歳)	204,367	201,958	215,011	213,914	211,195
	64.1%	63.5%	63.2%	63.0%	62.5%
老年人口 (65歳以上)	70,399	72,534	78,894	79,540	81,504
	22.1%	22.8%	23.2%	23.4%	24.1%
総人口	318,830	318,068	340,383	339,509	338,118

※平成21年5月に旧富士見村と合併。

※資料：住民基本台帳(各年4月1日現在)



人口ピラミッドは、各時代の社会情勢の影響を受けた出生・死亡の状況を反映したものです。昭和46～49年・昭和22～24年のベビーブーム期の出生数の一時的な増加や近年の晩婚化・少子化による出生数の減少により、2つの膨らみを持った、壺型のピラミッドとなっています。



※資料：前橋市(平成24年12月末現在)





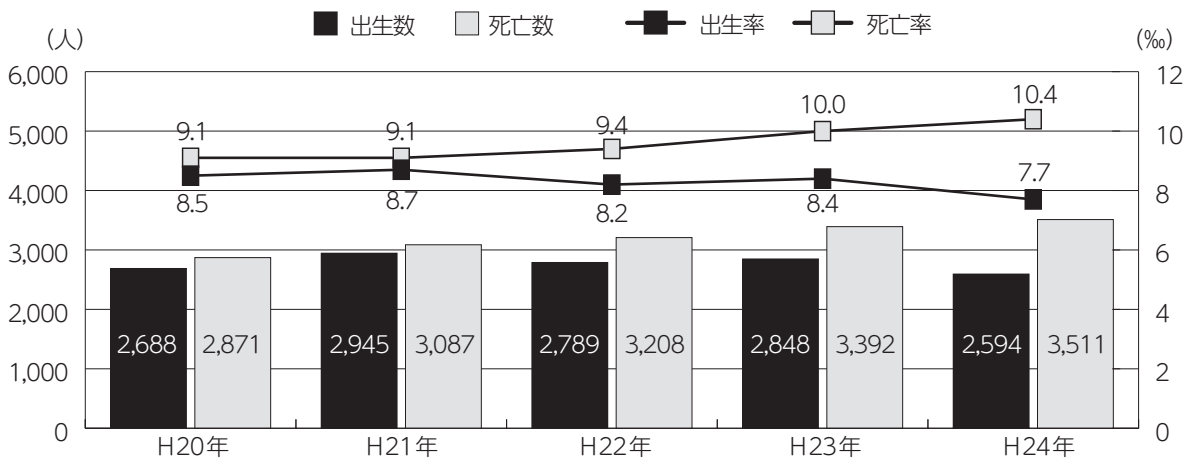
## 2 人口動態

平成20～24年度までの推移において、出生数・出生率は減少傾向にあり、死亡数・死亡率は増加傾向にあります。

### 【出生数・死亡数の推移】

区分	出生数 (人)	死亡数 (人)	自然増減 (人)	出生率 (%)**	死亡率 (%)**	自然増減率 (%)**
H20年	2,688	2,871	△183	8.5	9.1	△0.6
H21年	2,945	3,087	△142	8.7	9.1	△0.4
H22年	2,789	3,208	△419	8.2	9.4	△1.2
H23年	2,848	3,392	△544	8.4	10.0	△1.6
H24年	2,594	3,511	△917	7.7	10.4	△2.7

※資料：群馬県移動人口調査結果年報



※人口は、国勢調査の結果を基礎として住民基本台帳(平成24年7月8日までは住民基本台帳及び外国人登録)に定める転出入等の届出を加減し、推計。平成22年は、国勢調査結果による人口の修正がある。



‰(パーミル)：1000分の1を1とする単位。人口1,000人に対する1年間の出生数の比率を「出生率」、人口1,000人に対する1年間の死亡者数の比率を死亡率といい、「‰(パーミル)」で表示。



### 3 死亡原因

平成24年の主要死因別死亡者数をみると、悪性新生物が最も多く、次いで心疾患、肺炎の順になっています。これら上位3つの死亡者数は、全体の53%を占めています。

また、主要死因別死亡率をみると、悪性新生物、肺炎では全国平均、県平均を下回っていますが、心疾患では全国平均、県平均を上回っています。

#### 【平成24年の主要死因別死亡者数及び死亡率】

区 分	前橋市		死亡率(人口10万対)		
	死亡数 (人)	構成割合 (%)	前橋市	群馬県	全国
全 死 因	3,530	100.0%	1,045.9	1,080.6	997.5
悪性新生物	932	26.4%	276.1	289.5	286.6
心 疾 患	577	16.3%	171.0	165.9	157.9
肺 炎	379	10.7%	112.3	124.5	98.4
脳血管疾患	338	9.6%	100.1	111.3	96.5
老 衰	145	4.1%	43.0	47.8	48.2
不慮の事故	114	3.2%	33.8	35.1	32.6
自 殺	80	2.3%	23.7	23.4	21.0
腎 不 全	55	1.6%	16.3	19.0	19.9
慢性閉塞性肺疾患	60	1.7%	17.8	17.6	13.0
肝 疾 患	39	1.1%	11.6	13.2	12.7
糖 尿 病	48	1.4%	14.2	16.0	11.5
そ の 他	763	21.6%	226.1	217.3	199.2

※資料：平成24年(2012)人口動態統計(確定数)の概況  
平成24年群馬県の人口動態統計概況(確定数)





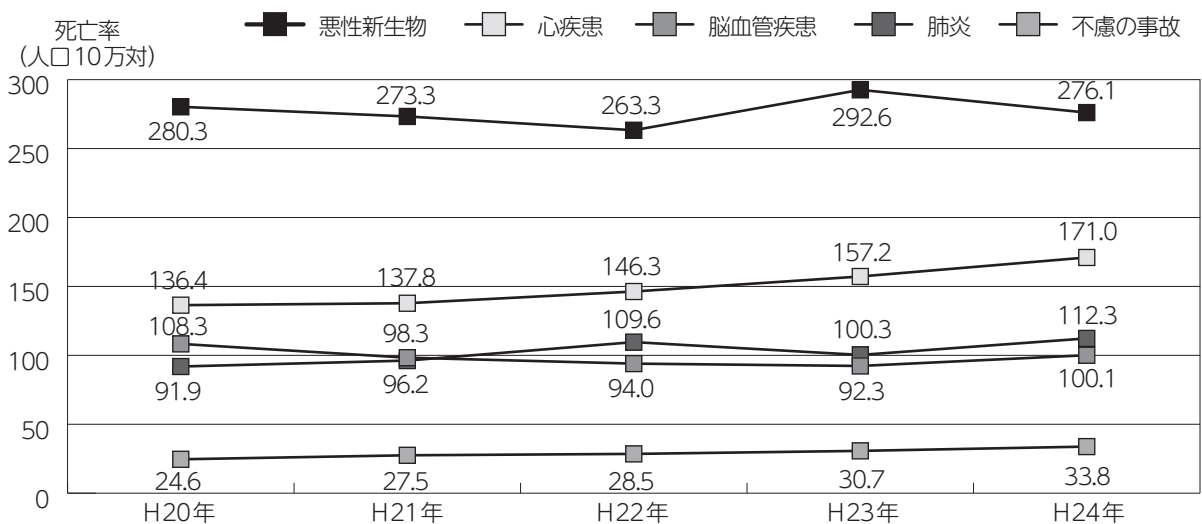
次に、主要死因別死亡率(人口10万対)の推移(人口10万対)をみると、悪性新生物は減少傾向にあり、平成23年では一旦増加するものの、平成24年では276.1ポイントと減少傾向に転じています。心疾患はその他の死因と比較すると、平成20～24年で34.6ポイントと大幅に増加していることがわかります。また、肺炎は平成20～24年で20.4ポイント増加しており、平成22年には脳血管疾患を上回り、逆転していることがわかります。

**【主要死因別死亡率(人口10万対)の推移(人口10万対)】**

区分	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
悪性新生物	280.3	273.3	263.3	292.6	276.1
心疾患	136.4	137.8	146.3	157.2	171.0
脳血管疾患	108.3	98.3	94.0	92.3	100.1
肺炎	91.9	96.2	109.6	100.3	112.3
不慮の事故	24.6	27.5	28.5	30.7	33.8
自殺	24.3	23.0	22.3	26.6	23.7
老衰	19.3	18.6	24.4	30.1	43.0
腎不全	11.4	17.4	14.4	17.1	16.3
慢性閉塞性肺疾患	14.5	15.1	13.2	20.1	17.8
肝疾患	12.9	13.9	10.9	14.2	11.6
糖尿病	12.6	13.0	12.3	14.8	14.2

※資料：健康福祉統計年報

平成24年群馬県の人口動態統計概況(確定数)



## 4 有病率

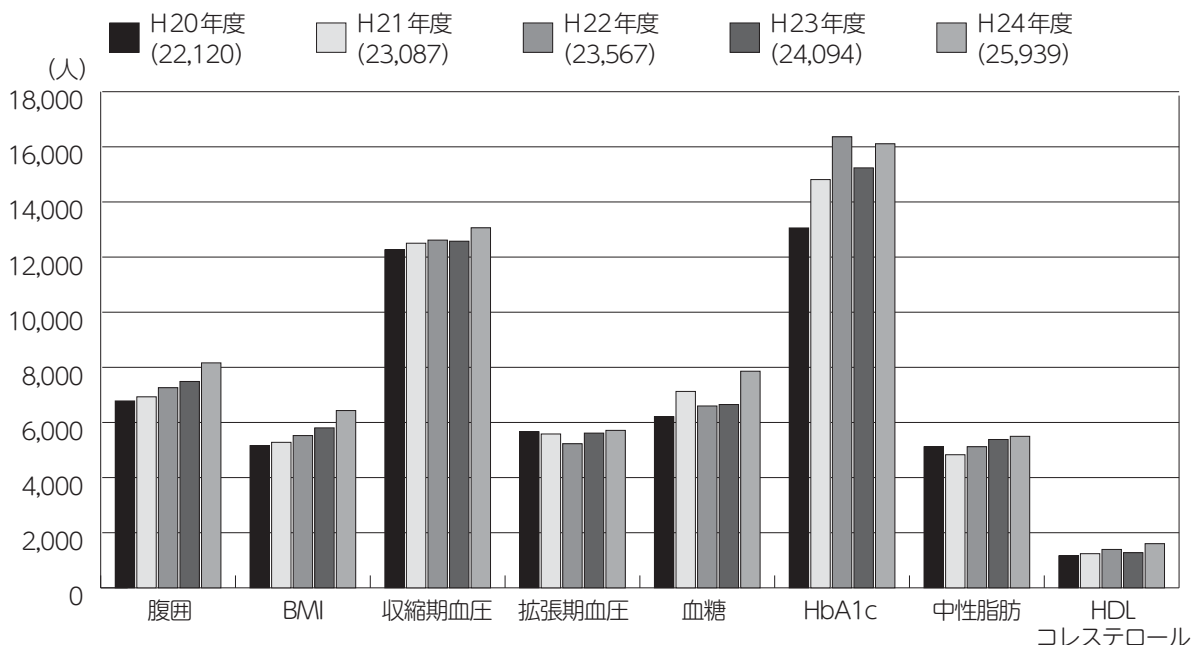
特定健康診査受診者数は、平成20年度22,120人、平成23年度24,094人、平成24年度は25,939人と年々増加しており、4年間で3,819人増加しています。

検査項目別特定保健指導判定基準値該当者(要指導者・要医療者)数の推移では、平成20～24年を通して、収縮期血圧とHbA1cの該当者数が特に多いことがわかります。

### 【検査項目別特定保健指導判定基準値該当者数の推移】

	腹囲	BMI	収縮期 血圧	拡張期 血圧	血糖	HbA1c	中性脂肪	HDL コレステロール
H20年度 (22,120)	6,780	5,160	12,263	5,662	6,208	13,057	5,117	1,162
H21年度 (23,087)	6,930	5,279	12,503	5,582	7,126	14,812	4,829	1,239
H22年度 (23,567)	7,261	5,524	12,616	5,228	6,598	16,364	5,120	1,393
H23年度 (24,094)	7,487	5,804	12,576	5,614	6,651	15,237	5,382	1,275
H24年度 (25,939)	8,162	6,432	13,062	5,713	7,859	16,110	5,497	1,602

※(受診者数)



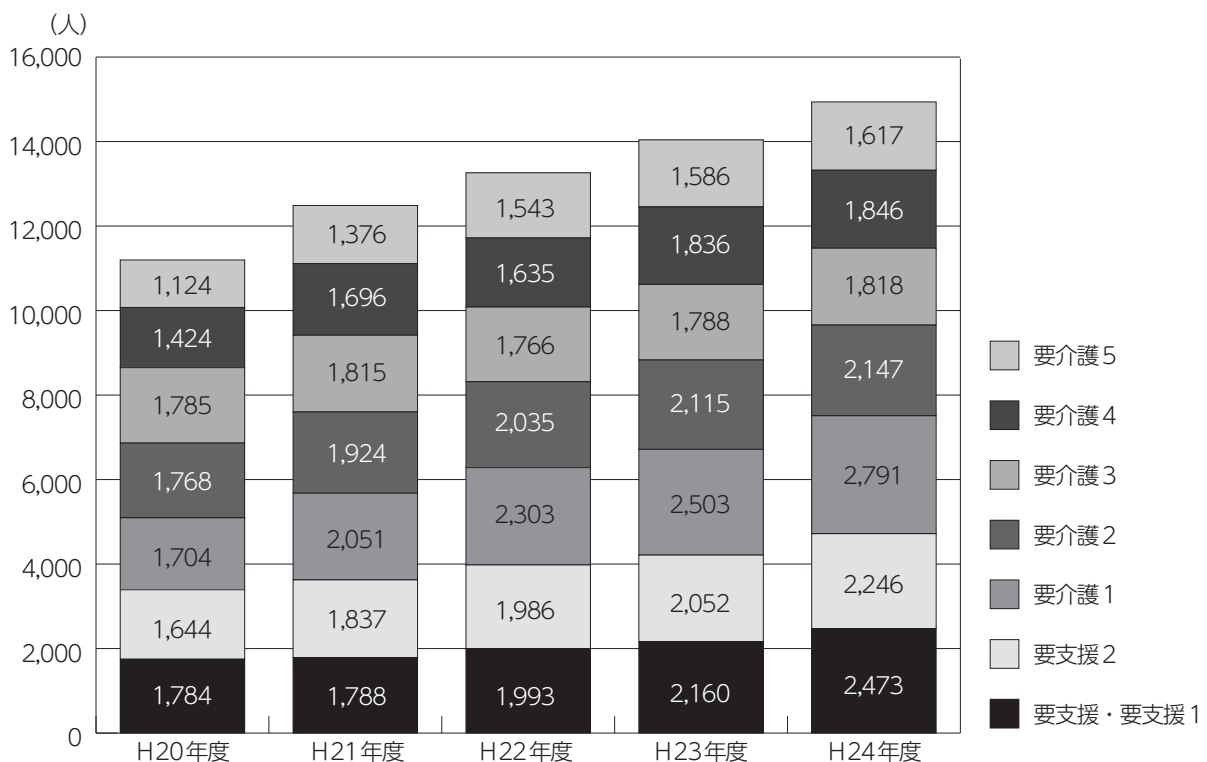


## 5 要介護(要支援)認定者数の推移

要介護認定者数は、平成20年度～24年度までの4年間で2,414人増加しており、すべての介護度区分での人数の増加がみられます。特に、要支援・要支援1では689人、要支援2では602人、要介護1では1,087人増加しており、今後の要介護認定者数は増加・重度化していくことが予想されます。

【要介護(要支援)認定者数】

	要支援 要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
H20年度	1,784	1,644	1,704	1,768	1,785	1,424	1,124	11,233
H21年度	1,788	1,837	2,051	1,924	1,815	1,696	1,376	12,487
H22年度	1,993	1,986	2,303	2,035	1,766	1,635	1,543	13,261
H23年度	2,160	2,052	2,503	2,115	1,788	1,836	1,586	14,040
H24年度	2,473	2,246	2,791	2,147	1,818	1,846	1,617	14,938



※資料：前橋市の福祉 平成25年作成

